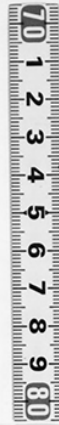


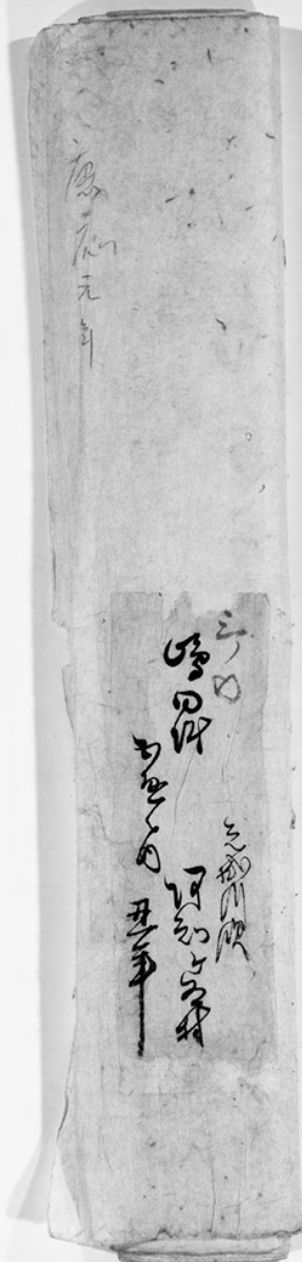
近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



端裏書

朱書



平清年貢免字之事

駿州志太郡



一萬石高田村免字之事 阿部守

高田村免字之事 阿部守

高田村免字之事

田方堤後川

高田村免字之事

田方堤後川

高田村免字之事

田方川内山田川

内

高田村免字之事

田方山田免字之事

高田村免字之事

田方高田免字之事 己丑年秋川

高田村免字之事

田方高田免字之事 己丑年秋川

高田村免字之事

田方高田免字之事 己丑年秋川

七斗并大

田方川欠山部江

肉

志

田方山齋書

衆

田方貴辰山齋書之於己亥七年

年

田方章年山齋去冬已丑今年秋川

敬啟者

田方先生深居簡出
黃公望之草牋

出百集卷之七

張百瑞書

等

東坡先生詩集卷之五

13

實業部勸業司長徐世昌

李元子集卷之六

10

新米

古笑風

月沙 琴 南 糸 尚 定 之
琴 年 用 給

定虎門

第

13

萬年昇

黃子

乙卯年定亥年重一白
用指

定次

ノルマ

斗

斗

定規

用方

定規

用方

定規

用方

斗

斗

定規

用方

定規

用方

斗

斗

定規

用方

定規

斗

用方

斗

定規

斗

用方

斗

定規

斗

用方

斗

相公府以在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

字之見少

相公府以在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

字之見少

日中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

二石七并日中谷

同方

中谷及居在并大谷

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

中谷及居在并大谷

一高百日中谷

同方

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

同方

中谷及居在并大谷

張百昌

田方去年秋收已至筆耕

張百昌

田方去年秋收已至筆耕

張百昌

田方去年秋收已至筆耕

張百昌

田方去年秋收已至筆耕

張百昌

田方去年秋收已至筆耕

張百昌

張百昌

張百昌

張百昌

田方

張百昌

田方

張百昌

田方

張百昌

田方

田方

田方

張百昌

田方

張百昌

田方

世永年五十六

中光為家信
同此中光信也云爾今當
七年用始

定光三

世永年五十六

知力

世永年五十六

定光三

九斗七

田本藏

世永年五十六

世永年五十六

知力本藏

世永年五十六

世永年五十六

世永年五十六

外

字原田直通云漢國經

一田及川左殿

見九

世永年五十六

反斗汁

一永世永年五十六

村後上綱

世永年五十六

一 氏及の古物類

具

古物類

安永元年

反斗汁

一 永昌

村後

方及の古物類

納 永昌

右通御江道去戌辰年と
七ヶ年空更お極之来村中
大山より入作之者之議之
此免空之より更更夫今割賦
極月十日迄及一皆編出也

慶應元年十月

山岸左衛門

吉本大助

山南安太郎

和川治郎助

波邊茂吉

波多野生吉

林 源吉

山南安島
 和旧治助
 波遠安島
 波多師生
 林源吉
 福島兵馬
 山田舍人
 若林求馬
 甲頌 礼
 須貝三郎
 福島幸島
 太田主殿
 河野十郎
 太田織部

太田織部
河野市馬
太田織部

白紙

裏継目印

大日靈
河子
太日
海
國
牙
印

裏繼目印

大正一〇年三月一日
加藤 烈次郎 氏 宛
東京市千代田区千代田

第1 東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

第2

東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

東京市千代田区千代田
加藤 烈次郎 氏 宛

昭和十一年三月一日

裏継目印

昭和十一年三月一日



昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

昭和十一年三月一日 昭和十一年三月一日

Handwritten text at the top right edge.

Handwritten text on the right side.

裏継目印

Handwritten text below the title.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text below the title.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.

Handwritten text on the right side.